

足立区公共施設 地球温暖化対策推進実行計画

2024 年度実績報告

2025 年 10 月

<足立区公共施設地球温暖化対策推進実行計画とは>

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条の3の規定により、地方公共団体に策定が義務付けられている自らの事務・事業に関する地球温暖化対策のための計画です。区の施設や業務における二酸化炭素（CO₂）排出量と、ごみ排出量の削減目標を定めており、計画期間は2017年度から2024年度までの8年間です。2024年度の削減目標と2024年度の状況は以下のとおりです。

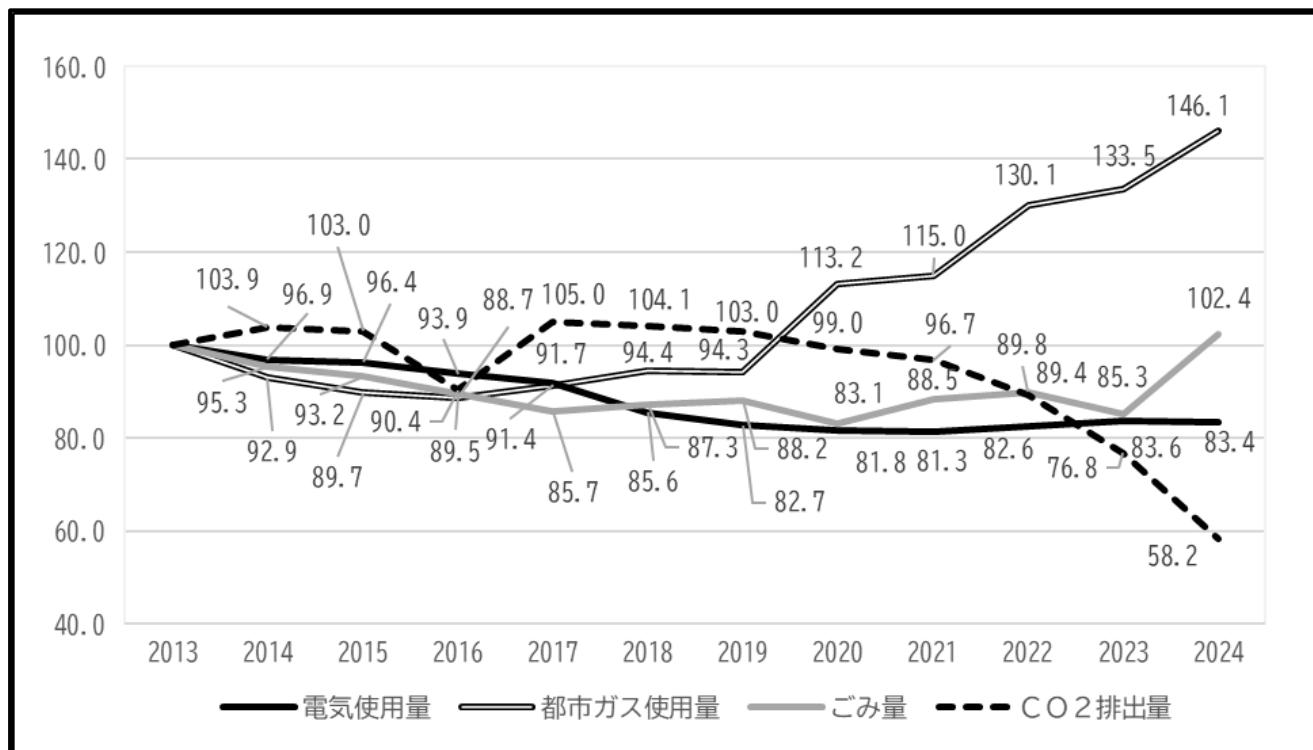
	削減目標（2024年度）	2024年度の状況
CO ₂ 排出量	2013年度比▲25%以上	2013年度比▲41.8%
ごみ量	2013年度比▲15%	2013年度比 2.4%

<2024年度の実績>

	2024年度	前年度比	2013年度比
二酸化炭素排出量	21,570t	▲24.2%	▲41.8%
ごみ量	2,712t	20.1%	2.4%
電気使用量	59,396,170kWh	▲0.3%	▲16.6%
都市ガス使用量	4,943,048m ³	9.4%	46.1%

<CO₂排出量、ごみ量、電気・都市ガス使用量の推移>

2013年度を100とした場合の各年度の推移



※ 都市ガス使用量増加の要因：小中学校や区施設へのガスヒートポンプエアコンの導入、足立清掃工場の排熱設備の不具合による温水プール等での使用量増

ごみ排出量増加の要因：学校での剪定・草むしり回数の増、体育館倉庫等の不用品の廃棄

CO₂排出量減少の要因：区施設での再生可能エネルギー100%電力の利用拡大